

生産性向上支援訓練カリキュラム

<b>B. 組織マネジメント</b>	組織課題に対し、問題解決のためのアクションプランを策定しよう！
組織力強化	管理者のための問題解決力向上

コースのねらい	組織課題に対し、業務の問題の本質を的確に捉え、業務の問題解決を図るための手法を学び、管理者として必要となる問題解決を実行するための知識と技能を習得する。
---------	--

対象	(中堅・管理者層向け) ・組織課題への対応を効率的に行いたい方 ・問題解決を実行するための知識と技能を学びたい方
----	--

講義内容	「基本項目」	「主な内容」	訓練時間 (H)
	1 組織の課題と対応策	(1) 問題とは何か ①問題解決においての問題 ②問題とは「事実」をあらわす言葉 ③問題解決への取り組みが「課題」  (2) 問題解決の流れ ①問題解決の基本的な流れ ②問題解決の具体的な手順	1.5
	2 問題の発見と見える化	(1) 問題の発見 ~多角的な視点で問題を捉える ①「6つの視点」による問題発見 ②日常の「違和感」からの問題発見 ③他者との協働による問題発見  (2) 現状把握・調査 ①現状把握の手法 ~数値化 ②数値を見やすく整理する ~図表の種類 ③数値分析をする① ~平均と個の「ばらつき」 ④数値分析をする② ~層別による比較 ⑤パレート図・パレートの法則 ⑥業務フローから分析する ⑦動態観察から分析する  (3) 問題の整理 ①解決すべき問題の優先順位づけ ②あるべき姿を設定する  (4) 真因追究 ①特性要因図 ②ロジックツリー ③連関図法	3.0
	3 問題解決に向けた取り組み	(1) 解決策の策定 ①解決策の検討 ②適切な解決策選択  (2) 行動計画策定・実施 ①行動計画策定のポイント ②進捗の確認 ③PDCAサイクルで管理する	1.5
	演習	【グループワーク】問題を発見・解決する際に「難しいこと」「苦手、よく分からないこと」を考えましょう。 【個人ワーク】それぞれの視点から、自分自身の周りにある問題を思いつく限り、徹底的に挙げましょう。 【個人ワーク+共有】洗い出した問題を、「重要度×緊急度」のマトリクス上に置いて、解決に取り組む問題の優先順位づけをしましょう。 【個人ワーク+共有】解決すべき問題について、「あるべき姿」を設定しましょう。 【グループワーク】特性要因図、ロジックツリーのいずれかを使用して、選択した問題の真因を探りましょう。 【グループワーク】ワークで探った真因への「解決策」を考えられる限り、洗い出して考えましょう。 【グループワーク】ワークで洗い出した解決策を、「実行のし易さ×効果」のマトリクス上に置いて、実行する解決策の優先順位づけを検討しましょう。 【個人ワーク】今回の研修の一連のワークで対象とした問題を以下のシートにまとめて、企画書として作成してみましょう。	基本項目に含む
		合計時間	6.0

カリキュラム作成のポイント	問題とは、「あるべき姿」と「現状」のギャップです。誰もが主体的に問題を発見し、次々に解決していけば、職場環境が良くなり業務効率が向上します。もし、問題意識が低く、解決できずに山積されたら…と考えると働く意欲が下がります。問題解決力とは仕事力そのものです。問題解決の流れを身につけ、PDCAサイクルで改善活動を回すことは、必ず個人の意欲向上と組織の活性化につながります。
---------------	--

備考	
----	--